

防滴剤塗布型汎用農POフィルムは コーティングが**5+**1 プラス

防滴剤コーティングによりボタ落ち抑制!

で決まり!

防滴性

防霧性

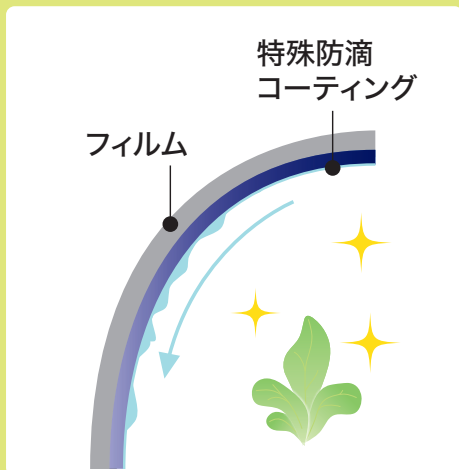
透明性

保温性



防滴剤をコーティングした汎用農POフィルム

防滴性



防滴剤をコーティングしており、
安定的にハウス内の
水滴を流します。

透明性

くもり度の少ない配合で
すっきり透明感があります。

防霧性

優れた防霧技術により
キリ、モヤの発生を
抑制します。*

※自社防霧試験による

保温性

保温剤を配合しており
夜間のハウス内
温度低下を抑制します。

使用上のご注意

1. 本製品には表と裏があります。フィルムに印刷された文字がハウスの外側から見て正しく読めるように展開してください。
2. 解反・展張時に防滴剤処理面（ハウスの内側になる面）を傷つけないようにしてください。
3. フィルムの展張時には、しわ、たるみを伸ばす程度に軽く引っ張ってください。
4. ハウスバンド等との摩擦により破れることがありますので、ハウスバンドはゆるめに張り、換気作業は丁寧に行ってください。
また、スプリング状の止め具で固定する場合、できるだけ緩やかに行うか、専用の補助部材をご使用ください。
5. 高温時にフィルムどうしが融着するおそれがありますので、展張途中や保管には十分ご注意ください。
6. 防滴処理面が濡れたまま重ねて保管すると、処理面どうしが接着する場合がありますため、フィルムをよく乾燥させてから保管してください。
7. 土壌熱消毒及び高温環境下での展張等によりフィルムの防滴性能が低下するおそれがありますのでご注意ください。
8. イオウ燻蒸や散布、及びイオウ含有農薬の付着により、フィルムの劣化が促進される場合がありますのでご注意ください。
9. アルミ・ステンレスなどの熱伝導性の高いハウス部材を使用した場合、フィルム接触面が蓄熱により劣化する可能性がありますのでご注意ください。
10. 本製品は防霧仕様ですが、キリ・モヤの発生が皆無ということではなく、季節や栽培環境によっては発生することがあります。
11. 内張りカーテン資材として使用した場合、防滴処理面の傷つき、処理面どうしの接着の可能性がありますのでご注意ください。
12. フィルムの”絞り”加工は防滴性能が低下する場合がありますのでご注意ください。



〒108-6031 東京都港区港南2-15-1 (品川インターシティA棟) TEL (03)-6711-4501
アグリ事業部ホームページアドレス URL: <https://www.tkci-agri.jp/>

※支店・営業所所在地・電話番号はホームページをご確認ください。



◀ ホームページ



◀ Instagram